

高瀬神社 社報

越中一宮

第58号

越中高瀬神社
一宮

平成30年7月1日
<http://www.takase.or.jp/>

撮影：南部スタジオ

「みんなで祈る」

宮司 藤井秀嗣

五月二十五日、天皇陛下が皇居の水田において恒例の田植えをされました。天孫降臨神話の中で天照大御神が瓊瓊杵尊に苗をお授けになったと記されているように、我々日本人にとって、お米との関係は、神代の昔からとても強いつながりがあり、これを天皇陛下が体现されています。

全国各地で田植えが行われ、今では苗が大きく育ち、当社周辺でも緑色の絨毯が敷かれたようになりました。苗の成長速度にはいつも驚かされます。田植えの際、わずかに四、五本の苗が、今は大幅に増えています。収穫の頃には、一株あたり二千粒くらいのお米になっていることでしょう。収穫率のとても高い

作物で、少量の苗が大量のお米になるという経済的にも効率的の良い農産物と言えます。それゆえに耕作面積の少ない我が国では、昔から大切に育てられてきました。

先月、「祈年穀祭」「風宮例祭」という、田んぼに関わるお祭りをご奉仕しました。祈年穀祭は除蝗祭ともいわれ、害虫の発生無く、苗が順調に育つように祈るお祭りです。また、風宮例祭は苗の成長期や収穫期において、暴風が吹いて作物を傷めないように祈るお祭りです。例年、神社関係者、農業関係者が参列して賑やかに斎行しています。

近頃は田んぼを所有してい

ても自分では耕作せず、農業法人などに委託される農家が増えています。また、農業をやめる方もおられます。少子高齢化や後継者不足など様々な事情があつてそうなっています。我が国の食料自給率は世界的にみて低く、近年度々起る大災害が発生すると益々自給率が減少します。私たちの食生活にも大きく影響してくることを考えると、農業をしていないから、自分に関係ないからと思わないで、消費者の立場で、作柄や天候など、農業環境について心配しても良いのではないでしようか。

祈年穀祭や風宮例祭は農作物に関わるお祭りで、関係者中心にお参りされますが、農業に関わらない人も、日頃、お米や小麦、野菜など農作物を口にしているのですから、時にはこのようなお祭りや近所の神社へ出かけて、不自由なく食事ができることに感謝

を捧げ、身近な田畑をはじめ、日本全土の農作物が順調に生育するようお願い、参拝していただきたいと思います。

お祭り本来の意義を踏まえつつ、自分の置かれた立場や環境にあわせて、その意義を解釈して参拝することも良いのではないかと思います。

例えば、田畑に悪い虫が蔓延^{はび}らないように願う「祈年穀祭」に、自身の心や体に悪い虫(悪い考えや悪い病気など)が蔓延^{はび}らないようにと願い参拝する。また、苗が強風に煽^{あお}られないようにと願う「風宮例祭」に、自身の仕事や生活に追い風が吹き、逆風という悪い風が吹かないようにと願い、お参りするなど、年間のお祭りはたくさんありますから、その中で自分に少なからず影響があると思われるお祭りに参列して、大神様の更なる御加護をいただかれていますかでしょうか。

祭事暦

春季祭(大祭)

四月十日午前十時より「春季祭」を斎行しました。神社役員・氏子・農協関係者、約三十名が参列し、今年一年の平安と豊作を祈りました。

式中、宮司祝詞奏上に続き、巫女が神楽「浦安の舞」を奉奏、参列者全員で「越中一宮高瀬神社奉讃歌」を奉唱しました。

祭典後、篤志奉納者感謝状授与式を執り行い、感謝状と記念品を授与しました。

【篤志奉納者】

「AED(自動体外式除細動器)」

石岡 敬夫殿



「提灯二張・提灯台一対」

岩倉 清司殿
石川 憲明殿



「納札箱」

初詣特設賽物受等境内備品

大和 彌壽夫殿
大和 秀夫殿



八乙女山 風神堂遷座祭



六月三日、八乙女山風神堂例祭を斎行しました。風神堂は、強風「井波風」が吹き出すという「風穴」前方に祀られています。「井波風」は、春の訪れを知らせる「春一番」である反面、古来より被害をもたらしてきました。

祭典当日、崇敬

者、一般登山者約百名が参列されました。祭典後、八乙女山風神太鼓の奉納演奏が行われました。



御神山「牛嶽」 開山祭

六月六日午前十時より、山頂に鎮座する牛嶽社で「開山祭」を斎行しました。祭典が始まると雨も止んで散居村が見わたせました。砺波・富山両市の奉賛会会員や一般登山者が参列し、今年一年の平安と入山者の安全を祈願しました。

※牛嶽社は標高九八七メートルに鎮座し、当神社の奥宮と称され、牛に乗った「大國主命像」が祀られている。



祈年穀祭(大祭)

六月十日午前十時より農作物が病虫害の影響なく豊作になるよう祈念する祈年穀祭を肅行しました。

祈年穀祭の起源は、飛鳥時代、深刻な病虫害が発生し、農作物に多大な被害を与えていたことに因ります。この事態を重く見られた天武天皇は、勅使を遣わされ、病虫害の収束と豊作を祈願なさいました。この出来事が祈年穀祭の始まりとされています。



根尾宗四郎・上田又一両氏
遺徳顕彰事業
農事功労者
齋田 一除氏

祭典では、誘蛾灯の火種となる御神火を献灯します。宮司祝詞奏上に続き、砺波地区農業協同組合協議会からの幣帛が供えられ、参向使のとなみ野農業協同組合常務理事 林安廣氏による祭文が奏上されました。祭典終了後、根尾宗四郎・上田又一両氏遺徳顕彰事業により、長年地域の農業の発展に貢献された齋田一除氏の農事功労表彰式を執り行いました。その後、奉仕員・参列者全員が御神火を先頭に参進し、鳥居前の御神灯に点火して、本年の五穀豊穰を祈願しました。

神輿巡渡御行程

六月十一日には、神輿と御神火が砺波地区の各農業協同組合を巡行しました。各農協において組合長以下職員総出で神輿を迎え、本年の五穀豊穰を祈念しました。



いなば農業協同組合



なんと農業協同組合



となみ野農業協同組合



福光農業協同組合

献穀田だより

「御田植祭」斎行



奉耕者

金田雄介氏

井波地域中核農業士協議会(岩倉和弘会長)

天候に恵まれた五月二十日、南砺市安室の献穀田で「御田植祭」が斎行されました。

大勢の関係者が見守る中、早乙女姿の女子中学生五名が、「コシヒカリ」の苗を、心を込め丁寧に植えました。

九月中旬には「拔穂祭」を行い、収穫した稲は新嘗祭の神饌米として、また「懸税」として伊勢の神宮に奉納されます。



早乙女奉仕者

河原 愛莉さん (中学生)
 稲垣 奈乙さん (中学生)
 往蔵 瑳咲さん (中学生)
 金田 奈樹さん (小学生)
 金田 咲耶さん (小学生)

金婚祭

四月八日午前十時より「金婚祭」が斎行されました。祭典前には、高瀬地区老人クラブ連合会(土田周六会長) 会員による、境内清掃が行われました。

清掃後、本殿にて金婚祭を斎行。会員の健康長寿を祈念し、宮司が祝詞を奏上、続いて巫女による浪速神楽「吾妻」が奉奏されました。祭典後、参集殿にて名誉宮司の講話が行われました。



金婚者

南砺市高瀬

中田 武

トシ子 御夫妻

(千歳会)

池田 和夫

美千代 御夫妻

(静寿会)

藤井 正雄

悦子 御夫妻

(福寿会)

献花祭

六月九日午後四時より「第四十四回高瀬遺跡菖蒲まつり」に先立ち、献花祭が斎行されました。祭典では、菖蒲の花が供えられ、高瀬遺跡菖蒲まつり実行委員長・高瀬地区自治振興会長が玉串を奉り拝礼しました。



浪速神楽講習会を終えて

巫女 中橋ゆきな



金婚祭「吾妻」

三月二十五日より二十九日にかけて、加賀一宮 白山比咩神社で行われた浪速神楽講習会を受講しました。

舞女さんのご指導の下、「剣の舞」「吾妻」を中心に練習し、癖を直し、美しく舞える様、また扇を綺麗に回せる様、教えて頂きました。普段より集中して練習に取り組めたこともあって、成果発表会では、自信を持って舞うことが出来ました。また、「大漁神楽」、「剣鉾」の見学や、舞女さんの気配り、立ち振る舞いからも学ぶところが多く、実りある五日間となりました。

今回の講習会で学んだ事を生かし、今後も一層の研鑽を積んで、努めて参ります。

ツバキの奉納

六月十五日、朝倉一男氏により、ツバキ五種類が奉納されました。奉納されたツバキは

- ・ 嵯峨白玉
- ・ たまかんざし
- ・ 隠れ磯
- ・ 井口の香り
- ・ 藍信義

の五種で、植木鉢にてお預かりしたツバキは、今後も大切に育てて参ります。花が付くまで暫く掛かりますが、お参りの際は、開花したツバキをご覧下さい。

※井口の香り（富山産）

伊豆大島の椿研究家・尾川武雄氏（富山県出身）が作出して、平成八年に農水省へ種苗登録された。ツバキの村で名高い井口に権利をゆずり、苗木が生産されている。



ご案内

はがた いし
菌固め石

当神社では、お食い初めの石「菌固め石」を授与しております。ご希望の方は社務所へお声がけ下さい。

※「菌固めの石」とは

生後百日頃は、赤ちゃんの菌が生えはじめる時期です。お食い初めの行事では、赤ちゃんに石のように丈夫な菌が生える事を願う「菌固めの儀」を行います。この「菌固めの儀」で使われる石の事を、「菌固め石」と言います。



宝物殿のご案内

古代の石器や加賀藩主前田家奉納品など、当神社縁の宝物を展示しています。ご参拝の折に、どうぞご覧下さい。

開館日時

事前に社務所へ

お申し込み下さい。

拝観料 無料



観月祭のご案内

〔日時〕九月二十四日(月)

観月祭 午後五時斎行
奉納行事 午後六時開始

〔入場無料〕

一年のうちで月が最も鮮やかに見える旧暦の八月十五日(新暦九月十五日)は「十五夜」、または「中秋の名月」といわれ、「お月見」に最適な日とされています。高瀬神社では来る九月二十四日(月)午後五時から月を愛で、収穫に感謝する「観月祭」を斎行し、その後、午後六時から奉納行事を行います。

今年は、一昨年好評を博した「南砺平高等学校 郷土芸能部」の皆さんによる「五箇山民謡(四演目)」が奉納されます。

名月の下で高瀬の大神様とともに奉納行事をご覧になり、更なる御神徳をいただかれていますでしょうか。本殿に向かい左側に入口がありますので、お入りになり、ご参列ください。

なお、参集殿テラスではご神酒・月見団子・湯茶を用意しております(祭儀終了後、お配りします)。

奉納演目

「越中五箇山民謡(こきりこ、麦屋節ほか)」

※南砺平高校は、世界遺産で有名な合掌造り集落のある越中五箇山にあります。

部活動が盛んでスキー部や郷土芸能部は全国の舞台で活躍しています。

郷土芸能部は、五箇山民謡の伝承と普及を目的にして平成元年に創部されました。兼部制で全校生徒の約半数が郷土芸能部に所属しており、地域の祭りや福祉施設等での公演を行っています。全国高等学校総合文化祭では、平成十八年と平成二十六年の最優秀賞・文部科学大臣賞受賞(日本一)を始め、入賞回数は全国一位となっています。



高瀬神社注連縄奉納講のご案内

注連縄奉納奉告祭

日時 十二月二十日(木) 午前十一時

「注連縄奉納講」は、大神様の御神徳に感謝し、年末に注連縄のかけ替えを行っています。注連縄は、県内で収穫された稲わらを用い、奉賛者の願い事を記した用紙を一緒に編みこんで大神様の更なる御加護が戴けるよう祈念して奉納します。

一口 一万円

◆ 締切

平成三十年九月三十日

◆ 奉賛者名、願意を記入した用紙を注連縄に編み込んで、成就を願います。奉納者名は向拝に掲示します。

◆ 申し込み方法

申し込み用紙をご記入になり、社務所へお申し込み下さい。

※申し込み用紙については社務所へお問い合わせ下さい。

奉 献

祈 願 (お願ひ)

(氏 名)

(住 所)

高瀬神社注連縄奉納講

※この用紙は、注連縄に編み込んで奉納するものです。お申し込みの際は、必ずこの用紙を提出して下さい。



七夕祭・技芸上達祈願祭のご案内

日時 八月七日(火) 午後三時より

八月七日に「七夕祭」を行います。織姫さまの裁縫上手にあやかり、習い事が上達するよう祈願する「技芸上達祈願祭」を行います。ご家族お揃いで是非お参り下さい。

なお、七月十四日(土)から八月七日(火)まで御本殿前に短冊を用意しておりますので、自由に願い事を書いてお納め下さい。



巫女絵画展

～巫女さんが描く神さまのお姿～

日時 7月21日(土)～8月16日(木) 午前9時～午後4時
 (入場無料)

この度、当神社参集殿(平成殿)にて、巫女が描いた絵画を展示する「巫女さんが描く神さまのお姿」展を開催します。

以前より、絵馬の意匠を担当するなど、絵を描くことに興味関心のある巫女が集まって開催される絵画展です。日本画や、漫画風な絵画など個性的な作品を展示しますので、是非ご覧下さい。



巫女が意匠した絵馬



奉納

○「参道玉砂利」

富山市八人町

株式会社 岡部

代表取締役

稲積 欣治 殿

○「参道玉砂利」

南砺市坪野

株式会社 藤井組

代表取締役社長

藤井 秀之 殿

○「境内剪定作業」

小矢部市津沢

株式会社 越路ガーデン

代表取締役社長

西尾 倫顕 殿

※毎年恒例の奉仕作業ですが、本年も爽やかな境内にして頂きました。



○「椿・苗植樹」

朝倉 一男 殿

・嵯峨白玉

・たまかんざし

・隠れ磯

・井口の香り

・藍信義

戌の日 (安産祈願)

7月	5・17・29日
8月	10・22日
9月	3・15・27日
10月	9・21日
11月	2・14・26日
12月	8・20日

腹帯のお祓いも行いますので
 ご持参下さい。

各種お問い合わせにつきましては、
 社務所へご連絡下さい。

(〇七六三) ハニ一〇九三三

社報バックナンバー

当神社ホームページで
 ご覧頂けます。

〔表紙写真〕

剪定前の松の新芽

越中一宮 高瀬神社 ブライダル



縁結びの神様に誓う
伝統の結婚式を挙げていただく、
一生に一度の日だからこそ、
一日一組のカップルの為だけに、
このバンケットは生まれました。



一日一組限定の

おもてなしバンケットホール

このバンケットホールでのご結婚披露宴のご予約を承っております。
お気軽にお問い合わせ、ご相談いただきますよう、お待ち申し上げます。

只 今
春の婚礼
ご予約
受付中

縁結びの神様のもとで幸せのお手伝いをしてみませんか

やさしいあなたの力を必要としています



土・日・祝日の空いた曜日だけ! 事前にシフトを決めて働きましょう!!
未経験者歓迎! 丁寧に教えます!

仕事内容 結婚式・披露宴でのサービス業をご担当いただきます
勤務時間 土・日・祝日/9:00~18:00の間(披露宴時間による)
勤務地 南砺市高瀬291 高瀬神社内
給与 時給1,000円以上 研修30hは時給900円
待遇 制服貸与 食事手当500円

月単位のシフト制なのであなたの都合に合わせて働けます

高瀬神社 ブライダル事業部
TEL (0763) 82-1131 中井 面接随意・先ずはお電話を

あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社 🔍 検索